



# 佐々木小

令和3年4月15日

第1号

佐々木小学校

新発田市則清 856

TEL.0254-27-2011



## 「すきな学校」から「すてきな学校」へ

校長 齋藤 博敏

令和3年度の教育活動が始まりました。26名の新1年生を迎え、全校児童は、124名。教職員は、3名が転入し16名。総勢140名でのスタートです。今年度も、保護者の皆様、地域の皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

さて、以下は、始業式の日、「進級おめでとう」の言葉の後、私が子どもたちに話したことです。

突然ですが、みんなは、佐々木小学校が「すきな学校」ですか？

私は、佐々木小学校がとっても「すきな学校」です。では、この「すきな学校」に『て』を加えます。すると「すてきな学校」になります。国語辞典で『て(手)を加える』を調べると、「今あるものをさらによい状態にするために、補ったり、直したりすること。手を入れる」と書かれています。

皆さんが「すてきな学校」だと感じるのには、どんなときでしょうか。私が「すてきな学校」と感じるのには、桜の花が満開できれいだなと感じるのと同じように、四季折々の花が咲いている。下駄箱の靴がきちんと揃えて入られていたり、掃除用具がきちんと整理整頓されていたりする。朝や帰りに「おはよう」「さようなら」と挨拶し合っている。先生の指示をしっかりと聞いて、落ち着いた態度で学習している。学級の友だちだけでなく、全校が仲良く過ごしている。こんな学級や学校だと、人の気持ちは落ち着き、穏やかになります。



では、こんな「すてきな学校」を誰がつくり出すのでしょうか。それは、佐々木小学校で生活している124名のみんなと、16名の先生方、140名が力を合わせてつくっていくのです。

佐々木小学校は、今から120年前の明治35年、北蒲原郡佐々木村立尋常小学校として創立されました。今年度で創立120周年になります。記念の年です。この記念の年に、佐々木小学校がさらに「すてきな学校」になるように、みんなで力をあわせましょう。

始業式で子どもたちに話をしたように、今年度、当校は創立120周年を迎えました。本来ならば、記念行事等を実施し、節目をお祝いしたいのですが、新型コロナウイルス感染症の収束等、先の見えない状況です。残念ですが、記念行事等は実施いたしません。ただし、全校朝会等で、佐々木小学校の歴史に触れ、子どもたちには、創立120周年という節目の年であることを意識させていきます。

創立120周年



さらに「すてきな学校」に